

Newシルキーパレット

細流仕上げ [不燃仕様] 施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー技術部
建設樹脂グループ

目次

NEWシルキーパレット20シリーズ

使用材料 3ページ

施工方法 4ページ

NEWシルキーパレット25シリーズ

使用材料 5ページ

施工方法 6ページ

NEWシルキーパレット55シリーズ

使用材料 7ページ

施工方法 8ページ

共通)

適用下地 9ページ

主な施工道具 9ページ

施工のポイント 9 ~ 12ページ

施工の注意事項 12ページ

不燃仕様の対象パターンについて 12ページ

NEWシルキーパレット20シリーズ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下塗り	Newシルキーパレット JM - 20シリーズ 標準色 JM - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [△] -缶	約3.4m ² /缶
上塗り	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ 標準色 JQ - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [△] -缶	約1.8m ² /缶

NEWシルキーパレット20シリーズ

< 細流仕上げ施工方法 >

1. 下塗り

配 合	JM - 20シリーズ	20kg
	清 水	約0.5%
塗布量	約0.6kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り 配り塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20kg
	清 水	0 ~ 0.5%
塗布量	約1.1kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテにて、材料を均一に配る。	

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

- ・ JQ - 20が乾燥しないうちに糊刷毛(JR - 77)にて横方向に模様をつける。(図 - 1)
- ・ 糊刷毛(JR - 77)に付着したJQ - 20は、その都度、きれいに洗浄する。

NEWシルキーパレット25シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下塗り	Newシルキーパレット JM - 25シリーズ 標準色 JM - 25 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 25 T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約3.4m ² /缶
上塗り	Newシルキーパレット JQ - 25シリーズ 標準色 JQ - 25 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 25 T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約1.8m ² /缶

NEWシルキーパレット25シリーズ

<細流仕上げ施工方法>

1. 下塗り

配 合	JM - 25シリーズ	20kg
	清 水	約0.5%
塗布量	約0.6kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り 配り塗り

配 合	JQ - 25シリーズ	20kg
	清 水	0~0.5%
塗布量	約1.1kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテにて、材料を均一に配る。	

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

- ・ JQ - 25 が乾燥しないうちに糊刷毛 (JR - 77) にて横方向に模様をつける。(図 - 1)
- ・ 糊刷毛 (JR - 77) に付着した JQ - 25 は、その都度、きれいに洗浄する。

NEWシルキーパレット55シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下 塗 材	Newシルキーパレット JM - 55シリーズ 標準色 JM - 55T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 55T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約3.3m ² /缶
上 塗 材	Newシルキーパレット JQ - 55シリーズ 標準色 JQ - 55T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 55T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約1.4m ² /缶

NEWシルキーパレット55シリーズ

< 細流仕上げ施工方法 >

1. 下塗り

配 合	JM - 55シリーズ	20kg
	清 水	約0.5kg
塗 布 量	0.6kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り 配り塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20kg
塗 布 量	約1.4kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで材料を均一に配る。	

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

- ・ JQ - 55 が乾燥しないうちに糊刷毛 (JR - 77) にて横方向に模様をつける。(図 - 1)
- ・ 糊刷毛 (JR - 77) に付着した JQ - 55 は、その都度きれいに洗浄する。

<適用下地>

・石膏ボード

- ・ 不燃仕様は下地が不燃の場合に不燃、下地が準不燃の場合に準不燃となり、その他の下地では防火認定にはなりません。

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・糊刷毛(JR-77)

<施工のポイント>

- ・ 糊刷毛 (JR - 77) は、パターン付けする方向に 45° 程度傾けてパターン付けを行う。
- ・ 細かくパターン付けを行うことにより、パターンのジョイント部分が目立ちにくくすることができます。

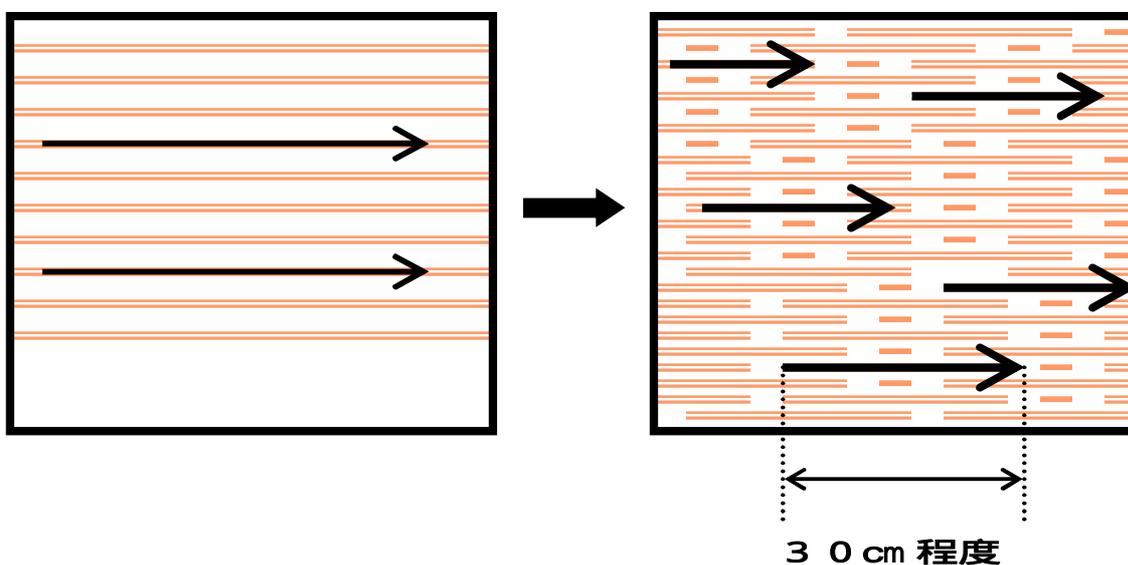
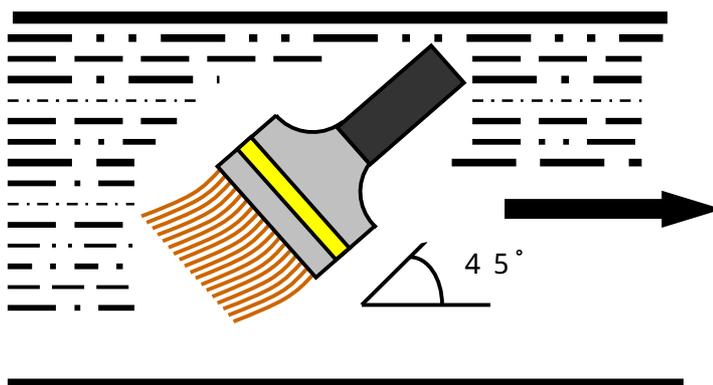
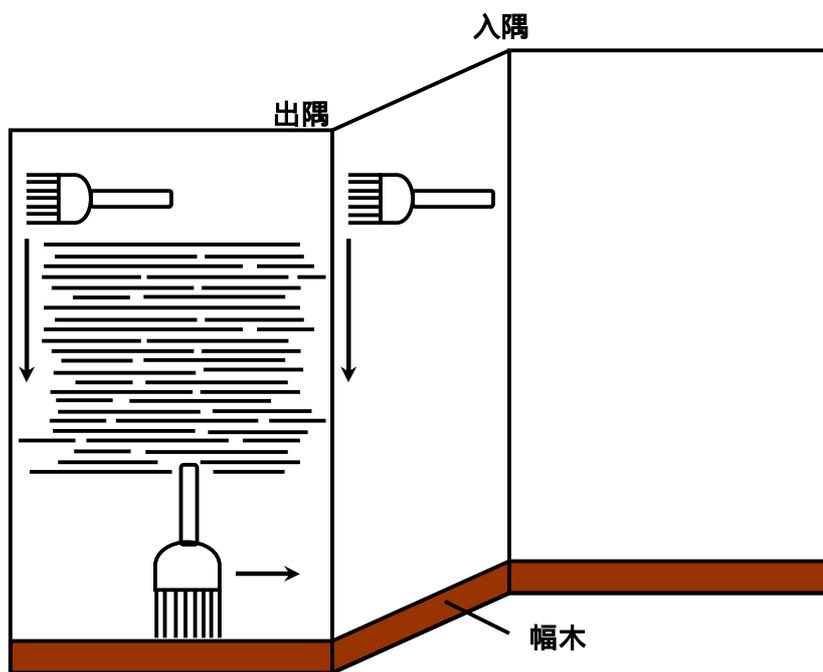


図 - 1

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅は塗布量が多くなるようにする。
- ・ パターン付けの際、入り隅や出隅、幅木のちりは、一度水に浸した後、水を良く切った刷毛で、塗材が乾燥する前に押さえる。(図 - 2)

入り隅において塗布量が多くなったり、水を付けすぎた刷毛で押さえた場合、クラックが発生しやすくなるので注意して下さい。



刷毛で押さえる工法

図 - 2

<施工の注意事項>

- ・パターン付けする際、ラインが蛇行したり斜めになったりしないよう注意して下さい。
- ・糊刷毛（JR - 77）に付着した上塗材は常に除去して下さい。
（刷毛の毛先が束になると、模様が汚くなります。毛先は、常にバラバラになるよう注意して下さい。）
- ・何度もパターンの手直しをすると、塗材が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・入隅は塗布量が多くなるように注意して下さい。塗布量が多い場合、クラックが発生しやすくなります。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

<不燃仕様の対象パターンについて>

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプラスター、マイルドプラスター、マイルドプラスターランダム、シンフィニー、ウォーターフォール、細流、ニュアージュ、乱流、乱流2色、ゆず肌があります。

以 上